

地域連携講座

信州の文化遺産を活かした地域活性化事業
(令和元年度文化庁地域文化財総合活用推進事業)



地域の過去を知り 未来を考える

図書館・文書館等と連携した通年の連続講座です

地域史料を読み、
地域を知り、
地域を考えます。

「学びたい」に応え、
調査研究を
サポートします。

図書館、文書館を
使った調べ方を
案内します。

弘化丁未春三月廿四日信州大地震山頰川塞湛水之図 (長野市立博物館蔵)

受講料 500 円

主催 NPO 長野県図書館等協働機構・長野県図書館協会

共催 県立長野図書館 松本市中央図書館 松本市文書館 上田市立丸子図書館 上田情報ライブラリー

飯田市立中央図書館 市立小諸図書館 中野市立図書館 塩尻市立図書館

公益財団法人八十二文化財団 NPO 法人上田図書館倶楽部

後援 信濃毎日新聞社

信州地域史料問題に挑戦してみましよう！

第1問 県歌「信濃の国」には「信濃の国は十州に境連ぬる国にして」とありますが、次の中には十州に含まれない国が一つあります。それはどの国ですか？

- ①越後 ②越中 ③飛騨 ④美濃 ⑤尾張 ⑥三河 ⑦遠江 ⑧駿河 ⑨甲斐⑩武蔵 ⑪上野

第2問 十返舎一九は信濃を4回訪れ多くの膝栗毛・道中記を残しましたが、次のうちで十返舎一九の作品でないものが一つあります。それはどれですか？

- ①木曾街道続膝栗毛 ②滑稽旅賀羅寿 ③方言修行金草鞋 ④東路日記

第3問 信州の基幹産業であった製糸、その原料の蚕の繭一粒からどれくらいの長さの生糸がとれたでしょうか？

- ①5m ②15m ③150m ④1500m

第4問 赤松小三郎は慶応2年（1866）から3年にかけて幕末の有力藩の京都藩邸で英国式歩兵練法や世界の政治組織等について講義をしましたが、その有力藩とは？

- ①長州藩 ②薩摩藩 ③会津藩 ④土佐藩

第5問 寛保2年（1742）に発生した千曲川大洪水「戌の満水」は流域に大災害を引き起こしましたが、長野市長沼地区津野の妙笑寺境内にある洪水水位標によるとその周辺の浸水は地上何メートルに達したか？

- ①約2m ②約3m ③約4m ④約5m

第6問 善光寺の御開帳の年におきた大地震（善光寺地震）は、マグニチュード7.4といわれていますが、その善光寺地震が発生したのはいつのことですか？

- ①天保7年（1836）②弘化4年（1847）③嘉永6年（1853）④慶応4年（1868）

第7問 慶応元年（1865）に信州に来て、戸隠中院（現在の中社）の天井絵を描いた絵師は誰でしょうか？

- ①葛飾北斎 ②河鍋暁斎 ③歌川国芳 ④歌川広重

第8問 元治元年（1864）上洛しようとして信州を通行した水戸浪士は、和田峠で信州の諸藩と合戦しそれを突破し、諏訪から伊那谷へと入っていきました。この合戦で水戸浪士と戦ったのは、高島藩とどこの藩でしょうか？

- ①高遠藩 ②松本藩 ③上田藩 ④小諸藩

お問い合わせ

長野県図書館協会事務局（026-217-9201）

松本市南部図書館（0263-26-1083） 松本市文書館（0263-28-5570） 上田市立丸子図書館（0268-42-2414）

上田情報ライブラリー（0268-29-0210） 飯田市立中央図書館（0265-22-0706）

市立小諸図書館（0267-22-1019） 中野市立図書館（0269-26-5841） 塩尻市立図書館（0263-53-3365）

公益財団法人八十二文化財団（026-224-0511）

中信地域

受付 13:00
 第一講座 13:30～14:30
 第二講座 14:40～16:10

	月日	会場	第一講座	第二講座
1	9月5日 (木)	塩尻市立図書館 ICTルーム(2階)	信州地域史料アーカイブの案内 宮下明彦	戦時下の松本の工場疎開・学 童疎開 小松芳郎
2	10月3日 (木)	松本市南部図書館 会議室(2階)	松本の陸軍飛行場 原明芳	もう一つの自由民権運動 一地価軽減運動と筑摩県一 青木隆幸
3	11月16日 (土)	松本市文書館 講義室	軍都松本と学都松本 一松本城郭、五十連隊、旧制 松本高等学校、信州大学一 福島正樹	日記からみた暮らしの変容 小松芳郎

南信地域

受付 13:00
 第一講座 13:30～14:30
 第二講座 14:40～16:10

	月日	会場	第一講座	第二講座
1	7月6日 (土)	飯田市立中央図書館 会議室(2階)	信州地域史料アーカイブの案内 宮下明彦	飯田町寺子屋宮下塾と学び 伊坪達郎
2	9月19日 (木)	飯田市立中央図書館 会議室(2階)	飯田市立図書館の書庫探訪・ 郷土資料の探し方 図書館職員	天保11年の大平街道争論に ついて 一馬・駕籠稼ぎ、松 川入、伝馬役一 羽田真也

<講師>

宮下明彦：長野県図書館協会会長・NPO長野県図書館等協働機構理事長、元上田市立図書館・上田情報ライブラリー館長。
 編著に『明日をひらく図書館』『信州朗読駅伝』等

小松芳郎：松本市文書館特別専門員、信濃史学会会長、松本大学非常勤講師。著書『長野県の農業日記』『松本平から見た大逆事件』『長野県謎解き散歩』等

原明芳：安曇野市豊科郷土博物館長、元長野県立歴史館総合情報課長。専門は奈良・平安時代の考古学。『奈良時代からつづく信濃の村』『松本市史』古代・奈良平安時代を執筆。論文多数

青木隆幸：飯田市美術博物館専門研究員、前長野県立歴史館学芸部長。論文に「山の民」と民俗芸能一三遠地域の盆行事を題材にして一「伊那県商社事件顛末記」「戌の満水」覚書」等

福島正樹：信州大学大学史資料センター特任教授。専門は日本前近代史、博物館学。著書『長野県の歴史』『日本中世の歴史2 院政と武士の登場』等

伊坪達郎：松川町資料館学芸員、南信州文化財の会事務局長。編著『図説飯田・下伊那の歴史』、共著『飯田・上飯田の歴史』『描かれた上飯田』『下伊那教育会130年史』『下伊那史 第8巻』等。論文多数

羽田真也：飯田市歴史研究所研究員。地域史(近世史)担当。最近の著作として、共著・飯田市歴史研究所編『飯田・下伊那の歴史と景観』(飯田市教育委員会、2019年3月)等

東信地域

受付 13:00
 第一講座 13:30～14:30
 第二講座 14:40～16:10

	月日	会場	第一講座	第二講座
1	8月31日 (土)	小諸市市民交流センター・ステラホール (市立小諸図書館)	信州地域史料アーカイブの案内 宮下明彦	天明3年の浅間山噴火と上信一揆 斎藤洋一
2	9月28日 (土)	上田市立丸子図書館 会議室	戊辰戦争に従軍した上田地域の農民 阿部 勇	三才山峠越え内村経由の松本城米輸送をめぐって 寺島隆史
3	10月24日 (木)	上田情報ライブラリー セミナールーム	インターネットやデジタルアーカイブで史料・情報検索 西入幸代	西行と信州一和歌、そして、伝承 中西満義

北信地域

受付 13:00
 第一講座 13:30～14:30
 第二講座 14:40～16:10

	月日	会場	第一講座	第二講座
1	6月27日 (木)	八十二別館 4階 AV 研修室(長野市岡田町)	幕末の先覚者① 赤松小三郎 宮下明彦	幕末の先覚者②佐久間象山と長谷川昭道 酒井春人
2	9月25日 (水)	県立長野図書館 「信州学び・創造ラボ」 大会議室	「信州学び・創造ラボ」の案内・ 書庫探訪 県立長野図書館職員	『江戸名所図会』の絵師が描いた北信濃―長谷川雪旦の『北国一覽写』より 小林一郎
3	10月12日 (土)	中野市立図書館 AVホール(2階)	一茶の俳文を読む 一俳文に記された中野・小布施・山ノ内 小林一郎	江戸時代千曲川水害と上今井瀬直し工事 寺島正友

<講師>

斎藤洋一：小諸市古文書調査室長、元小諸市立郷土博物館長。著書に『五郎兵衛新田と被差別部落』等、共著に『身分差別社会の真実』『日本農書全集』等、共編に『天明三年浅間山噴火史料集』上・下巻等

阿部 勇：上田歴史研究会会長、上田女子短期大学非常勤講師。著書『蚕糸王国信州ものがたり』『蚕都信州上田の近代』『上田は信州の横浜だった』等。共著『おはなし長野県の歴史』『上田市誌』等

寺島隆史：東御市文化財保護審議会会長、東信史学会常任理事。著書『郷土の歴史上田城』等、共著『上田市誌』『望月町誌』『真田幸村のすべて』等、論文多数

西入幸代：NPO法人上田図書館倶楽部情報サービス部会長

中西満義：上田女子短期大学教授。長野県国語国文学会会長、西行学会・国際熊野学会常任委員。和歌をはじめとして説話・伝承など多角的な視点から西行を研究。

酒井春人：龍鳳書房代表取締役、長野県出版協会代表。著書『穂高神社と安曇族』共著『昭和の映画館主奮闘記』等

小林一郎：長野郷土史研究会会長。編著に『善光寺縁起物語』『門前町伝説案内 善光寺表参道歩きの基本知識』等、共著に『伝説の寺、善光寺』『語り紡ぐ絵解きのふるさと信濃』等

寺島正友：山田家資料館管理調査員、前高野辰之記念館館長。共著『幕領中野陣屋の支配機構と民政』『須坂市誌』『絵巻と旅する信州』『川と人の営み』『飯山市誌』等